



進路講演会

R4.09.12



私は、進路講演会に参加して学んだことがあります。それは、高校生である今がとても大事だということです。高校に入学してあっという間に月日が経ち、来年のコースを決定する大事な時期になってきた今、将来のことについて考える時間が増えました。自分自身、将来何をしたいのか、何になりたいのかが決まっていなくて、不安と焦りでいっぱいでした。しかし、講演会でお話を聞いて、「何をすればいいのかわからないから何もしない」のではなく、身近にある小さなことから積極的に挑戦する事が大切だと学びました。例えば、仕事について調べてみたり、周りの人とたくさんコミュニケーションを取ったり、検定やボランティア・部活動に取り組んでみたり、高校生の今だからこそ出来る事がたくさんあると感じました。今回の講演会を通してより深く真剣に進路について考えることができ、良いきっかけとなりました。今回学んだことをこれからの高校生活で活かしていきたいです。

菅野 綺羅々さん（日立市立泉丘中学校出身）



お茶会

R4.09.16



私は高校3年間茶道部に所属していました。1年のときから道具の扱い方や作法を学んでいました。細かい作法を覚えたり、行うことは大変でした。しかし、見栄えが綺麗になるように、友人と教え合いながらやるのがとても楽しかったです。お茶会で、いろいろな先生方や生徒の前で作法を行うことは緊張しました。しかし、友人が普段と変わらない明るさで話しかけてくれたり、場を和ませてくれたりしたため、徐々に落ち着いていきました。お茶会の主役はお点前ではあるけれど、お菓子の盛り方やお客様への出し方など、小さなことから丁寧に行うように普段から心がけていたため、上手くやれたと思います。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、礼法室の和を感じられる空間で行えず、人数制限もある中でしたが、良い経験になりました。これから、もっと多くの人に茶道や日本文化の良さを知ってもらいたいです。

千田 あゆみさん（日立市立平沢中学校出身）



体育祭

R4.09.22



生徒会役員として体育祭を企画・準備、運営を行うことを通して、私は改めて二高の良さを知りました。生徒全員が種目に意欲的で、手を抜くことなく、楽しそうに競技をしていて、とても良いと思いました。また、生徒だけでなく、先生も競技に参加してくれ、全員で楽しむことができ、皆の記憶に残るような素晴らしい体育祭となったと思います。特に、借人競争では、普段関わりのない人でも、積極的に手を上げて、協力してゴールをしていて、明るい笑顔が見られました。

日立二高の生徒の良いところは、仲が良く励まし合うことができ、まとまりがあるところだと改めて知ることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で多少の制限はありましたが、それを全く感じさせない程の盛り上がりでした。3年に1度の体育祭は、満足感のある素晴らしい行事で、とても楽しかったです。

小森 零姫さん（日立市立滑川中学校出身）



県北合同美術展

R4.09.27~10.02

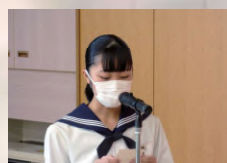


日立シビックセンターで行われた美術展に茨城県北部の高校約10校が参加しました。本校美術部では、デザインの部に14点、立体造形の部に1点、合計15点の作品を出品しました。足をお運びいただいたみなさん、ありがとうございました。

11月16日~20日にザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸市）で行われる茨城県高等学校総合文化祭（高等学校美術展覧会）にも作品を2点出品します。



第77回 国民体育大会出場



私の将来の夢は、プロボウラーになることです。それは、小学校一年生からの夢です。

中学校の頃は、部活も勉強もあり、週に二回ほどしかできなかった練習が、日立二高に入ってから、学校帰りに日立のボウリング場での練習が増えたため、技術力も上がり、大会での成績を残せるようになりました。

今年の栃木国体では、関東ブロックを通過し出場権を勝ち取ることができました。

鹿児島国体、三重国体が二年連続、新型コロナウイルス感染症で中止になった悔しさをバネにして、栃木国体では、一投一投に集中し、夢であるプロボウラーへの一歩を踏み出せるような成績を残せるように本番に臨みたいと思います。そして、応援してくれている家族や友達の期待に応えられるように夢に向かっていきたいと思っています。

井崎 寛菜さん（ひたちなか市立勝田第三中学校出身）